

別表 2030年度の役員選出候補者について（予測）

作成日：25/11/8

1) 役員選出候補者数

班	25年7月現在高齢者			2025/3現在		30年度	
	a世帯	b独り住い	c計	d会員	e候補者	f候補d-c	候補増減g-e
1	6	5	11	14	14	3	△ 11
2	1	3	4	8	7	4	△ 3
3	2	4	6	8	8	2	△ 6
4	1	6	7	15	15	8	△ 7
5	4	1	5	8	6	3	△ 3
6	1	5	6	8	8	2	△ 6
7	1	4	5	9	9	4	△ 5
8	5	5	10	13	13	3	△ 10
9	2	4	6	12	12	6	△ 6
10	3	6	9	14	12	5	△ 7
11	2	3	5	11	7	6	△ 1
12	5	3	8	13	12	5	△ 7
13	2	2	4	8	8	4	△ 4
14	4	4	8	12	6	4	△ 2
合計	39	55	94	153	137	59	△ 78

2) 作成条件

- ①候補者は夫婦世帯、また独り住いも1件とする。
- ②25年度敬老会対象者は世帯者39名（ $39 \times 2 = 78$ 名）独り住いは55名で計133名となる。
注記1：敬老会対象者の性別 男性50名 女性83名 計133名
注記2：25年度敬老会対象者で初招待者30名（75歳）は5年先80歳の高齢者とみなす。
注記3：80歳以上の会員は全員役員候補を辞退したとする。
注記4：高齢会員家族に役員候補になる親族がいるか否か、また転出転入者も
加味していない。

3) 参考資料

- ①敬老会対象者名簿（25年7月20日現在）
- ②会員名簿（25年3月現在）

4) 合併班別の役員選出候補者数

班	25年7月現在高齢者			25年3月現在			30年度			
	a世帯	b独り住い	c計	d会員	e候補者	fサイクル	g候補d-c	h 候補増減g-e	iサイクル	サイクル増減i-f
1 + 2	7	8	15	22	21	10.5	7	△ 14	3.5	△ 7.0
4 + 13	3	8	11	23	23	11.5	12	△ 11	6.0	△ 5.5
5 + 10	7	7	14	22	18	9	8	△ 10	4.0	△ 5.0
6 + 8	6	10	16	21	21	10.5	5	△ 16	2.5	△ 8.0
7 + 12	6	7	13	22	21	10.5	9	△ 12	4.5	△ 6.0
3	2	4	6	8	8	8	2	△ 6	2.0	△ 6.0
9	2	4	6	12	12	12	6	△ 6	6.0	△ 6.0
11	2	3	5	11	7	7	6	△ 1	6.0	△ 1.0
14	4	4	8	12	6	6	4	△ 2	4	△ 2.0
合計	39	55	94	153	137	9.7	59	△ 78	4.2	△ 5.5

5) 役員候補者減に対する対応策として（例）

- ①役員選出方法の単純化と統一化を図る。（現在、各班それぞれ複雑な方法で役員選出している。）
- ②将来に向けて新たな役員選出方法を探す。
(例として現在の班ベース役員選出を止め、日生住宅全体から選出するなど新たな選出方法を探す。)
- ③候補者増加の一つとして役員候補辞退できる年齢を80歳以上とする。
但し、体力的能力的な低下は避けられないが。
- ④女性役員を増やす。また希望者は任期を延ばせる。
- ⑤会長職、副会長職、会計担当職、補助金申請担当職など複数年担当可とする。
また、引継ぎをスムーズに移行するにあたり会長職は副会長から選任する。
- ⑥見沼区防災訓練が来年から『3年に1回程度の実施』のごとく第四自治会防災訓練も同様にしてはどうか。①避難所運営訓練、②市総合防災訓練、③見沼区防災訓練
- ⑦役員リタイアした高齢者をボランティアとして自治会業務に参加してもらう。

